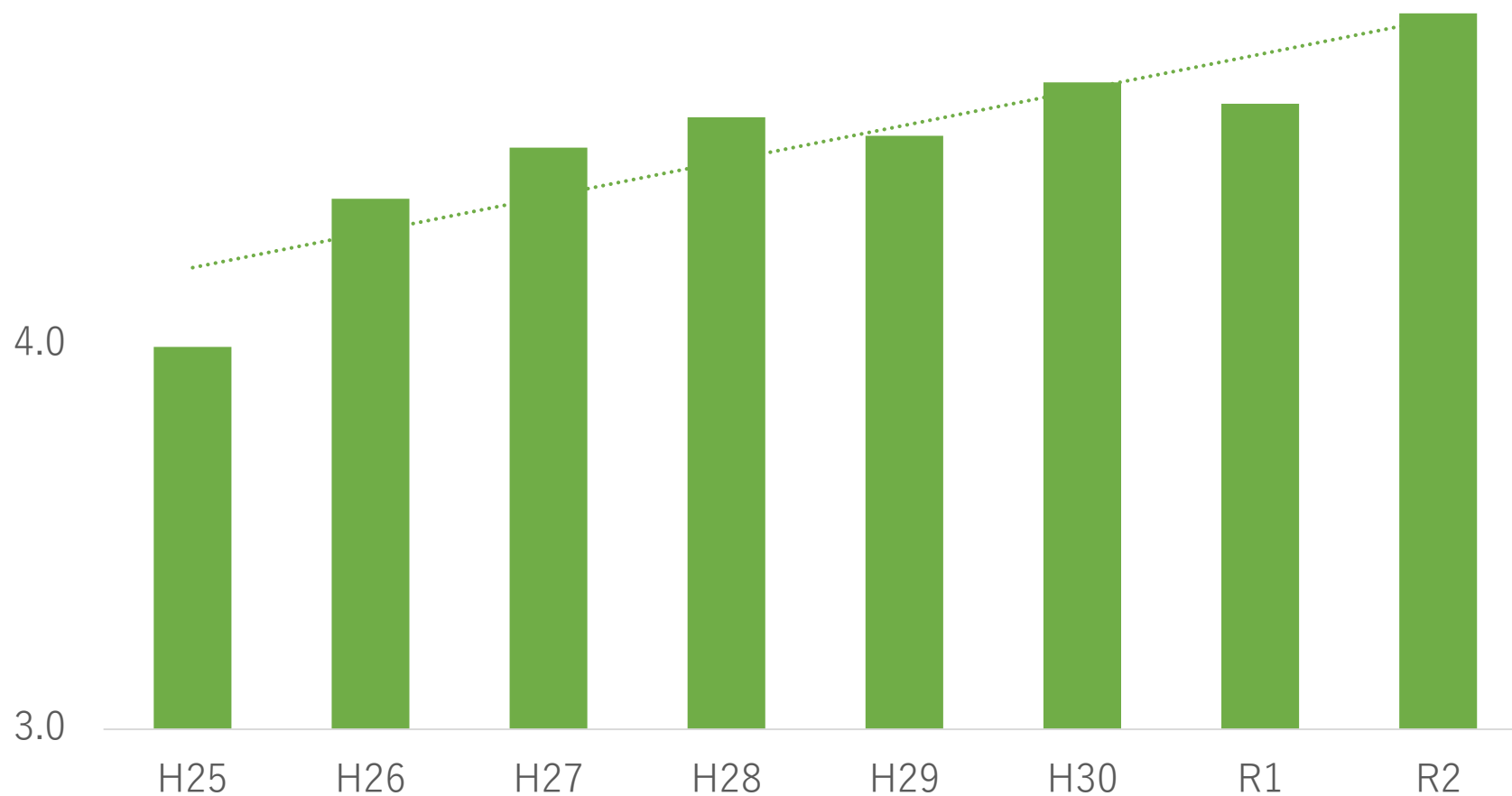


浜田市の状況

有機野菜の年間産出額は上昇傾向

4.8億円

(億円) 5.0



いわみ地方有機野菜の会

代表者 大畑安夫 2005年設立
会 員 14名（法人4、生産者8、関係者2）

理 念

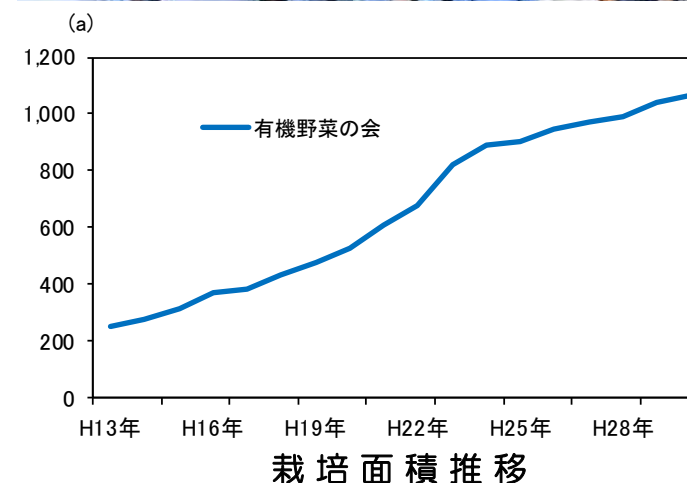
- 消費者に喜ばれ、地域に貢献する有機（エコ）野菜産地を目指す
- 環境・生態調和のとれた栽培技術と持続・継続出来る農業経営を目指す

主な取組

- 技術研鑽（技術的な情報の共有等）
- 新商品開発
- 交流活動（学校教育、消費者等）

組織概要 (2020年現在)

- 施設面積 12.0ha（ハウス棟数 440棟）
- 主力品目 ほうれん草、小松菜、水菜、葉ねぎ
春菊、ミニチンゲンサイほか
- 販売量 約800t
- 販売額 約4.8億円（取引先：約130社）



株式会社ぐり～んは～と

代表取締役 佐々木一郎
2008年4月設立 資本金210万円

目 的 いわみ地方有機野菜の会の組織的販売力強化を目的に共同出資により設立

主な業務

- 商談、受発注、代金決済
- 営農支援
(資材の共同購入、土壌分析など)



販売概要 (2020年実績)

- 売上額 約2億4千万円
- 取扱量 約400 t
- 販売エリア 県内、北海道～沖縄
- 主な取引先 こだわりや、風水プロジェクト、オルター
生協、オイシックス・ラ・大地 など



有限会社やさか共同農場

代表取締役：佐藤大輔

昭和47年から事業開始、平成元年に法人設立

理 念

■自社生産だけでなく、地元生産者等との連携・協働による有機農業の面的拡大と販路開拓を通じ、地域での有機農業の発展に寄与しつつ、安全で安心できる農産物を多くの方々にお届けする。

■有機農業を志向する新規就農者の受入れ等を通じ、地域で有機農業に取り組んでいく人材育成を行い、地域の有機農業の発展に寄与する。

事業概要

■農産物生産・販売

- ▶水稲、大豆、大麦 25.0ha
- ▶施設野菜（葉菜類） 1.0ha
- ▶露地野菜（加工トマト等） 5.0ha



■加工品製造・販売

- ▶加工品（味噌、糀、トマトジュース等）製造販売

■主要取引先

- ▶首都・関西圏の宅配業者、生協、量販店等



■令和2年度 浜田市の振興作物に「有機野菜」を追加

■令和3年度 「有機米の産地づくり」

井関農機株式会社、島根県、浜田市との連携協定締結

■令和4年度 「有機野菜の産地づくり」

楽天農業株式会社、島根県、JA、石見9市町との連携協定締結

■令和5年度 島根県初となる「オーガニックビレッジ宣言」

いかしあうつながり（有機的な関係性）によって 浜田市の大地と海、風土をはぐくみ続けるまち





農地を守ることが地域を守ることにつながり、市全体の環境保全につながる。
有機農業により浜田市の豊かな自然環境（山、農地、川、海）を次世代につなぐ。

地域連携

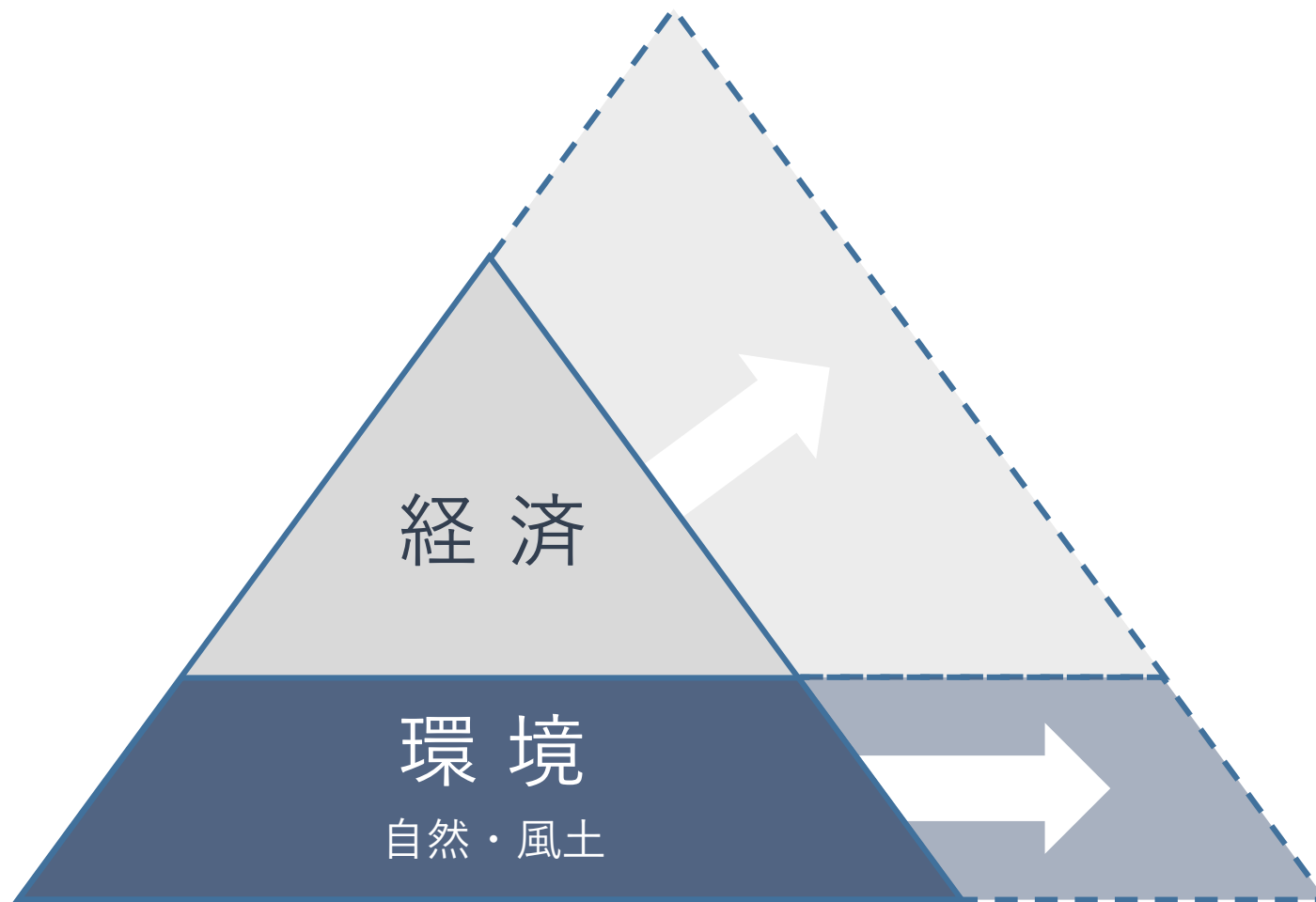
生き物調査・粃殻燻炭・学校給食
オーガニック弁当・マルシェ
オーガニックメニューの開発

食育・環境・地域の意識醸成

企業連携

効率化・省力化・価値化

有機農産物の生産拡大



環境としての価値が増えることにより
経済活動（農業）も拡大していく



求められる地域へ